

人口ビジョンの位置づけ 国の『まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）』及び『デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略の策定・改訂について（通知）』に基づき、当市における人口の現状を分析するとともに、人口に関する市民の認識を共有し、今後、当市が目指すべき将来の方向と、人口の将来展望を提示するものです。【対象期間：令和32（2050）年】

1. 人口動向分析

① 総人口の推移

- 現久慈市域の人口は、昭和35（1960）年に約4.5万人と最大になって以降、盛岡市、東京圏等への人口流出等による人口減少を経て、昭和45（1970）年から平成2年（1990）年にかけて横ばいとなり、それ以降は人口減少が進み、令和2（2020）年時点の人口は国勢調査より約3.3万人となっています。

② 自然増減

- 合計特殊出生率は、全国や岩手県平均より0.1～0.3ポイント高い水準で推移していましたが、平成30（2018）年～令和4（2022）年では1.34と全国や岩手県平均と同程度となっています。母親世代の人口減少も続いており、一貫して出生数が減り続ける一方で、高齢化が進み死亡数が増加しています。

③ 社会増減

- 当市では、周辺町村からの転入が多いものの、この転入人口を盛岡市や東京圏等への転出人口が上回る状況となっています。特に若者の盛岡市や東京圏への転出が多くなっています。
- 10歳代後半から20歳代前半の転出超過が特に多く、20歳代後半は転入超過となっていますが、前者の転出超過数が後者の転入超過数を上回っています。これらは、高校や大学への就学や就職に伴う転出及び大学卒業後のUターン就職に伴う転入の影響が考えられ、過去から続く傾向となっています。

④ 就業状況

- 10～20歳代の就業者数の多い産業は、製造業、医療・福祉、卸売・小売業となっており、10～20歳代の全就業者の半数以上が、上記3つの産業のいずれかに従事しています。

2. 目指すべき将来の方向

現状と課題を踏まえ、市民とともに的確な施策を戦略的に展開し、人口減少に歯止めをかけるためには、今後の取組において、次の4つの目指すべき将来の方向を共有することが重要です。

① 安定した雇用の創出

地域産業活性化と担い手確保に努めるとともに、企業誘致や地域内企業の職場環境づくりを推進し、誰もがストレスなく働き続けられる環境と生活を支えられる所得を得られる安定した地域雇用の創出を支援します。

② 結婚・出産・子育てへの支援

希望する子どもの数と予定している子どもの数に差があることを踏まえ、次世代を担う若い世代が安心して働き、希望どおり結婚・出産・子育てをすることができる社会を実現します。

③ 久慈市への人の流れづくり

北限の海女や久慈秋まつりなど、多くの観光資源や地域文化を有する久慈市の魅力を全国に発信し、久慈市と継続かつ多様な形でかかわる関係人口、久慈市に住み、働き、心豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる環境を実現します。

④ 安心・安全なまちづくり

人口減少に伴い、労働力人口の減少、公共サービスの質・量の低下、年齢構成のアンバランスによる社会保障分野における現役世代の負担増大など、様々な問題が懸念されます。こうした変化に柔軟に対応し、効率的・効果的で持続可能な社会を構築するとともに、安心かつ安全に住み続けられる魅力的な社会を実現します。

3. 人口の将来展望

当市では、次の独自設定により、令和32（2050）年に約1万8,600人の人口確保を目指します。

出生に関しては、結婚・出産・子育ての環境を整えることにより、人口戦略会議が発表した「人口ビジョン2100」に示されているとおり、合計特殊出生率が令和22（2040）年に1.6、令和32（2050）年に1.8に向上することを目指します。

さらに、社会移動に関して、近年は年間で人口の1%程度が転出超過となっており、特に15～24歳の転出超過が多い状況です。この状況を改善するため、洋上風力発電事業や企業誘致などにより、市内経済を活性化させ、市内での雇用の創出、若い世代を中心としたUターン等を促進し、転出超過の抑制を目指します。

上記の仮定により将来人口を推計すると、令和32（2050）年に18,566人となり、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」と称す。）推計（17,896人）に比べて670人の人口減少の抑制が図られることになります。なかでも、年少人口は276人、生産年齢人口は254人、それぞれ社人研推計に比べて人口減少の抑制が図られると見込まれます。

図1 将来人口の展望

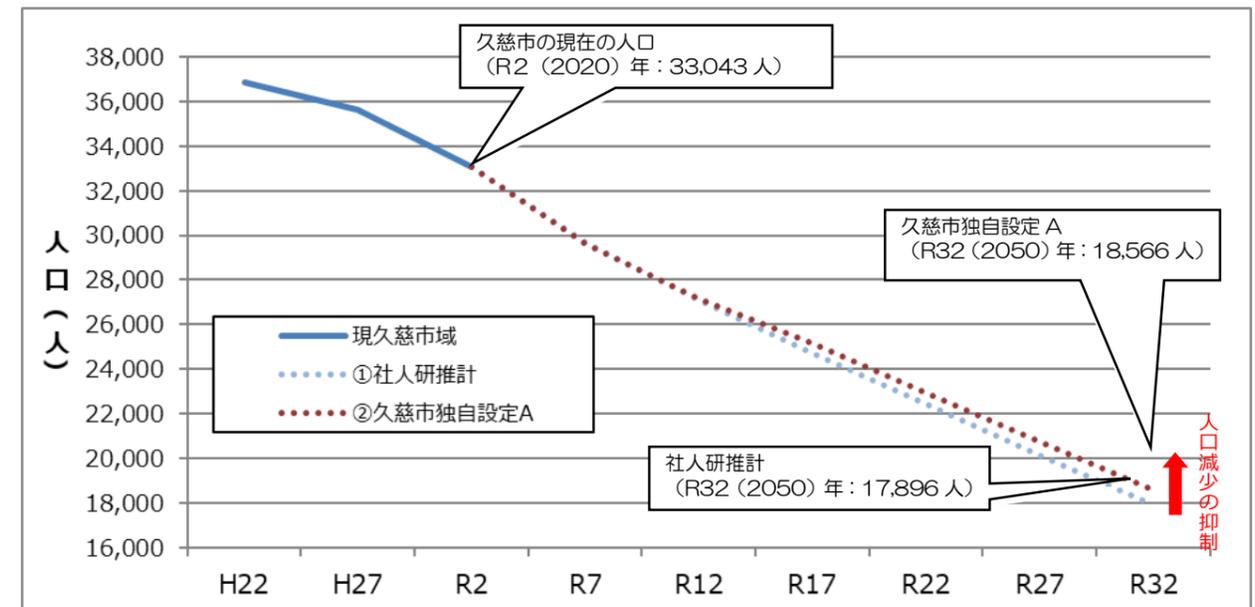
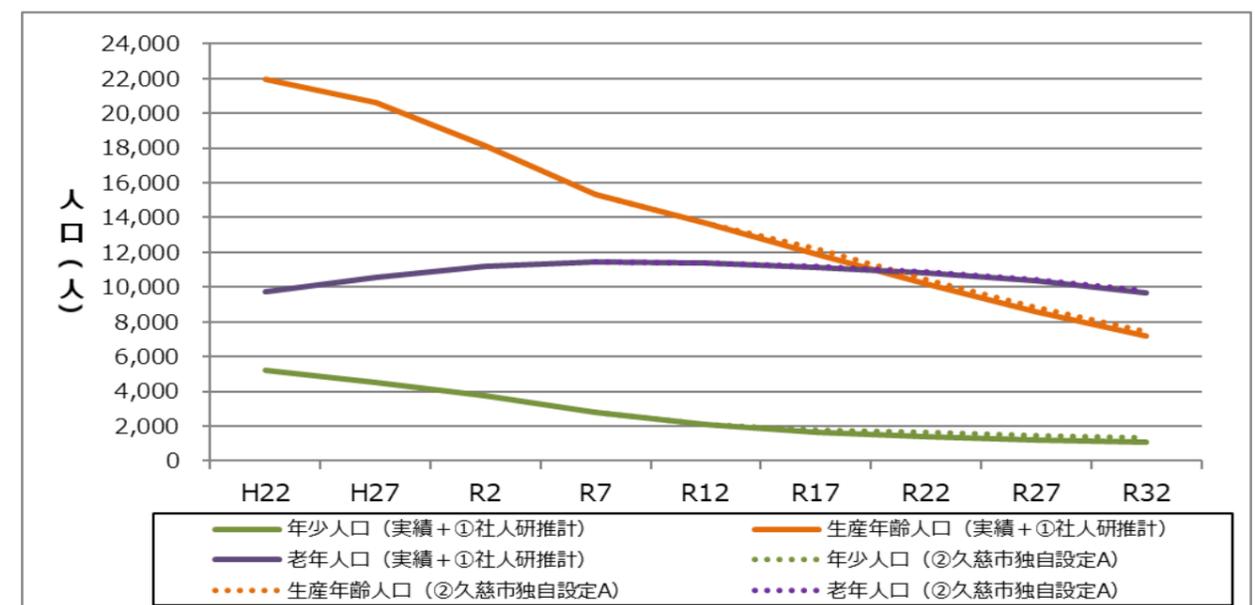


図2 年齢3区分別の将来人口の展望





第3期久慈市総合戦略 概要版

計画期間
令和7（2025）年度～令和9（2027）年度
計画人口
令和9（2027）年度 28,000人程度

趣旨及び位置づけ

『久慈市人口ビジョン』を基礎資料として、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向けて、短中期的な目標や方向性、具体的な施策を示すものです。国や岩手県が定める総合戦略の基本的な考え方や政策の方向性を基に、当市の特徴を勘案した計画とします。また、『久慈市総合計画』の理念や将来像と整合を図り、7つの重点戦略を補強・補完するものとして位置づけます。

戦略を進めるうえで重視する視点

- (1)SDGsの理念を踏まえた取り組み
- (2)Society5.0の実現に向けた技術の採用
- (3)地域マネジメントの推進及び多様な主体との連携
- (4)デジタル技術による地域課題解決

効果検証の実施(PDCA サイクル)

久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会による効果検証と市民への公表（市HPなど）。

久慈市人口ビジョン

対象期間：令和32（2050）年

当市では、次の4つの政策分野において対策を施すことにより、出生率の向上と、若者の転出抑制及び転入促進による人口減少の抑制を図り、持続可能なまちづくりを進めます。

①安定した雇用の創出

誰もが意欲的に働き続けられる環境と生活を支える所得が得られる安定した仕事の創出支援

②結婚・出産・子育てへの支援

若い世代が安心して働き、希望に沿った結婚・出産・子育てをすることができる社会の実現

③久慈市への人の流れづくり

久慈市で働き、豊かな生活を送りたい人を増やすための全国へ向けた久慈市の魅力発信と、関係人口の拡大への取組み

④安心・安全で魅力的なまちづくり

効率的・効果的で持続可能な社会の構築と、安心かつ安全に住み続けられる魅力的な社会の実現

■人口の将来展望

令和32（2050）年 18,600人程度

久慈市総合戦略の枠組み

<基本目標（数値目標）>

政策分野① 安定した雇用の創出

- 地域産業の活性化と担い手確保
- 安定した地域雇用の創出

一人当たりの課税所得
2,828千円 ⇒ 2,980千円
市内総生産
1,328億円 ⇒ 1,183億円

- ◇施策1 地域産業の活性化
 - 1-1 第1次産業の強化
 - 1-2 地域産業の育成
- ◇施策2 地域雇用の拡大
- ◇施策3 産業活動の担い手の確保
 - 3-1 就業・創業支援の充実
 - 3-2 教育界と産業界が一体となったキャリア教育の推進

政策分野② 結婚・出産・子育てへの支援

- 多様な価値観を尊重し、希望に沿った結婚・出産・子育てが実現できる社会の構築
- 子どもがのびのびと成長できる社会の構築

出生数
134人 ⇒ 124人

- ◇施策4 安心して子どもを産み育てることができる地域づくり
 - 4-1 結婚・出産を希望する人への一貫した支援
 - 4-2 子育て支援の充実
- ◇施策5 「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成

政策分野③ 久慈市への人の流れづくり

- ずっと住みたいまち、戻ってきたいまちの実現
- 市外・県外、外国の方にも愛されるまちの実現

社会増減数
-365人 ⇒ -183人
観光客数
63万人 ⇒ 141万人

- ◇施策6 住みたい、戻ってきたいまちづくり
 - 6-1 故郷の魅力を再確認するための取組の推進
 - 6-2 誰もが実感できる賑わいの創出
- ◇施策7 関係人口の拡大及び移住促進・支援体制の強化
 - 7-1 関係人口の創出とつながりの強化
 - 7-2 移住促進に向けた支援体制の強化
- ◇施策8 交流の機会等を活用した久慈の魅力発信
 - 8-1 体験型観光の推進
 - 8-2 スポーツコンベンションの推進
 - 8-3 観光客の受入体制及び情報発信力の強化

政策分野④ 安心・安全で魅力的なまちづくり

- 人口減少と少子高齢化に対応した持続可能な社会基盤の構築
- 住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる生活環境の形成
- 災害に強いまちづくり

市民満足度アンケート満足度平均値
2,917 ⇒ 3,000

- ◇施策9 計画的なまちづくりの推進
- ◇施策10 社会基盤の維持管理・更新と活用最適化
- ◇施策11 安心できる医療福祉のまちづくり
 - 11-1 地域医療体制の充実
 - 11-2 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進
- ◇施策12 地域コミュニティの維持・再生
 - 12-1 多様な人材で支えあう地域体制づくり
 - 12-2 地域文化の伝承
- ◇施策13 災害に強いまちづくりの推進
- ◇施策14 次世代に引き継ぐ環境の保全・形成

<主な重要業績評価指標（KPI）>

・農産物系統販売額
…23億3,500万円
(R5年度 23億3,563万円)

・久慈管内新規高卒者の管内就職率
…50.3% (R6年度 48.1%)

・新規高卒就職者3年経過後の職場定着率
…68.4% (R5年度 68.5%)

・3歳児健診受診率
…100% (R6年度 100%)

・子育て支援に関する満足度平均値
…3.30 (R6年度 2.99)

・課題解決に向けて主体的に学んでいる児童生徒の割合
…小34.0% 中32.0%
(R6年度 小32.7% 中30.7%)

・ふるさと納税リピート件数
…7,496件 (R5年度 4,473件)

・移住者数
…46人 (R6年度 37人)

・体験型観光等受入団体数
…70件 (R6年度 54件)

・中心市街地主要点における歩行者・自転車交通量
…4,000人/日 (R6年度 3,098人/日)

・公共交通の市民一人当たりの年間利用回数
…9.18回/人 (R5年度 8.60回/人)

・自主防災組織率
…90.8% (R6年度 76.9%)

久慈市総合計画

【重点戦略】
いつまでも住みたいと思えるまちづくり

平成28年度～令和8年度

魅力ある仕事起し
プロジェクト

出愛いと地元愛の育み
プロジェクト

くじの魅力発信
プロジェクト

日本一の地域づくり
プロジェクト

安心・安全のまち
プロジェクト

みんなに愛される
マイバス・マイレール
プロジェクト

安心できる医療福祉のまち
プロジェクト

補強・補完